

♪ 2016年度

poco a poco

♪

Nr. 14

2017年1月9日(月) 文責: プファイル・辰巳

明けまして

おめでとうございます!

2017年の年明けです! みなさんはどこで、そしてどんな思いで新年を迎えられたのでしょうか? いくつになっても、新しい年を迎えるということは、気持ちを引き締め、「さあ、新たな気持ちでまたがんばろう。」などと思ってみるのは、私だけでしょうか?

昨年未、しつこい風邪に悩まされたので、私の今年の第1の目標はまず「健康に留意する」です。元気に1年を過ごせるように、お散歩や水泳など身体を動かすことも心掛けたと思っています。そして、日本人学校のみなさんと、音楽室で元気な歌声を響かせたいと思っています。今年もよろしくお祈りします。

昨年未、しつこい風邪に悩まされたので、私の今年の第1の目標はまず「健康に留意する」です。元気に1年を過ごせるように、お散歩や水泳など身体を動かすことも心掛けたと思っています。そして、日本人学校のみなさんと、音楽室で元気な歌声を響かせたいと思っています。今年もよろしくお祈りします。



〈あの町、この町、音楽家が住んだ町 ③

Hansestadt Hamburg

エルベ川の河口に位置し、アルスター湖もある港町ハンブルクは、北ドイツを代表する大都市ですね。このハンブルクの観光名所の一つに「聖ミハエリス教会」がありますが、この教会からそう遠くない一画に、ペーター通りという通りがあり、ここに「作曲家たちの街角(Komponistenquartier)」があります。ハンブルクゆかりの作曲家たちの博物館が、ここに集められているのです。

ヨハネス・ブラームスはハンブルク生まれで、生家はもう残っていませんが、この一画の近くにあったという歴史もあり、古くからブラームス博物館がありました。(1971年~) 2011年には、テレマン博物館が、2014年にはカール・フィリップ・エマヌエル・バッハ博物館が、同じ通りに相次いで開館されました。その他にも、ファニーとフェリックスのメンデルスゾーン姉弟の博物館、

ヨハネス・ブラームスはハンブルク生まれで、生家はもう残っていませんが、この一画の近くにあったという歴史もあり、古くからブラームス博物館がありました。(1971年~) 2011年には、テレマン博物館が、2014年にはカール・フィリップ・エマヌエル・バッハ博物館が、同じ通りに相次いで開館されました。その他にも、ファニーとフェリックスのメンデルスゾーン姉弟の博物館、

グスタフ・マーラー博物館などができています。

テレマンは大バッハと同時代の売れっ子作曲家で、フランクフルトで活躍していた時代もありますが、その後の半生をハンブルクで過ごしました。

大バッハ(ヨハン・セバスティアン・バッハ)の息子カール・フィリップ・エマヌエルは、バッハの息子たちの中では、最も活躍した作曲家でした。大先輩で名づけ親でもあった先述のテレマンの死後、彼の後任としてハンブルク市の音楽監督として活躍しました。彼の墓碑は聖ミハエリス教会の地下にあります。

ファニーとフェリックスのメンデルスゾーン姉弟作曲家もハンブルク生まれです。生家もやはり、聖ミハエリス教会のそばでした。

グスタフ・マーラーは、ウィーンの宮廷音楽家として召喚される前、ハンブルク・オペラ劇場の音楽監督として6年間ほど活躍しました。

このように、ハンブルク生まれやここで活躍した作曲家はたくさんいるのですが、彼らに関する資料が、この「作曲家たちの街角」に行くと、一挙に見学できるようになっています。「ライオン・キング」などのミュージカルをはじめ、有名なバレエ団やオペラ劇場もある音楽都市ハンブルク。是非訪れていただきたい町の一つです。

ちょっとだけ 演奏会情報

アルテオーパー・2月の演目より

2月4日(土) 20時から 大ホールにて
ウィーン・コンサート協会楽団
Andreas Ottensamer のクラリネット演奏
モーツァルトのクラリネット協奏曲、
交響曲第38番 他

2月5日(日) 11時から
6日(月) 20時から いずれも 大ホールにて
フランクフルト・ムゼウムオーケストラ
アラベラ・シュタインバッハのヴァイオリン演奏
ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲
ショスタコーヴィチの交響曲 第8番 他



2017年がよき1年になりますように・・・